

- 1 力と移動させた距離を掛け合わせた、仕事の大きさを表す際に用いられる単位を何という？
- 2 物体そのものが移動することなく、隣り合う粒子へ次々と熱が伝わる現象を何という？
- 3 手回し発電機などを利用した際に、運動の力から変換されて生み出されるエネルギーを何という？
- 4 物体に外から力がはたらかないとき、元の速さを保ち真っ直ぐに進み続ける運動を何という？
- 5 ある物体に力を加えたとき、その相手から受ける同じ大きさで逆向きの力を何という？
- 6 物体が実際に移動した軌跡の長さのことを何という？
- 7 不安定な原子核から放出されるエネルギーの流れのうち、特に透過力が高い放射線を何という？
- 8 物体同士が力を及ぼし合う際、常に等しい力で押し引きし合うという物理の基本法則を何という？
- 9 単位時間あたりの仕事量を示す仕事率の単位を何という？
- 10 長さの単位の一つで、1メートルの1000分の1にあたるものを何という？
- 11 1つの力を、それと同じ働きをする2つの力に分解したときのそれぞれの力を何という？
- 12 医療や工業の現場において、放射線の量を測るために用いられる機器を何という？
- 13 道具を使っても、手で直接持ち上げても、持ち上げる荷物の重さと高さが変わらなければ全体の仕事量は一定であるという決まりを何という？
- 14 2つの力が働くとき、それぞれの力を辺として平行四辺形を描いた際、合力を表す図形上の線を何という？
- 15 物体に働く力の合計が0のとき、その物体が現在の運動状態を保ち続けるという法則を何という？
- 16 1つの力を、それと等しいはたらきをする2つ以上の力に分けることを何という？
- 17 高い場所にある物体が持つエネルギーと、動いている物体が持つエネルギーの和を何という？
- 18 道具を使っても、手で直接作業を行う場合と比べて、加えた力と移動距離の積が変わらないという原理を何という？
- 19 物体に対して摩擦や空気抵抗がないとき、力学的エネルギーの総量が変化せずに一定に保たれる法則を何という？
- 20 斜面上にある物体に働く重力を、斜面に平行な方向と垂直な方向に分解したものを何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	<u>ジュール</u> は、1ニュートンの力を加えて物体を力の方向に1メートル動かしたときの仕事量と定義されます。		<u>ジュール</u>	☐
2	固体などの物質において、熱せられた部分の粒子の振動が隣の粒子へと順々に伝わっていく現象を <u>伝導</u> といいます。		<u>伝導</u>	☐
3	この <u>電気エネルギー</u> は導線を通じて遠くまで運ぶことができ、家庭や工場で光、熱、動力などの別のエネルギーに再び変換されます。		<u>電気エネルギー</u>	☐
4	<u>等速直線運動</u> は、速さと向きが一切変化しない運動です。		<u>等速直線運動</u>	☐
5	このとき同時にはたらく相手からの力を <u>反作用</u> と呼び、単独では存在しません。		<u>反作用</u>	☐
6	<u>移動距離</u> は、物体の運動経路に沿って計測されるスカラー量です。		<u>移動距離</u>	☐
7	<u>ガンマ線</u> は高いエネルギーを持つ電磁波の一種であり、非常に高い透過力を持っているのが特徴です。		<u>ガンマ線</u>	☐
8	ある物体が他の物体に力を加えるとき、相手からも同じ大きさで逆向きの力を受けることを指します。		<u>作用・反作用</u>	☐
9	1秒間に1ジュールの仕事をする時の仕事率が1 <u>ワット</u> (W) です。		<u>ワット</u>	☐
10	<u>ミリメートル</u> (mm) は、1メートルの1000分の1を表す単位です。		<u>ミリメートル</u>	☐
11	平行四辺形の法則を逆方向に用いることで、対角線を元の力として、任意の方向への2つの <u>分力</u> を求めることができます。		<u>分力</u>	☐
12	<u>放射線測定器</u> には、ガイガーカウンターやシンチレーションカウンターなど複数の種類があります。		<u>放射線測定器</u>	☐
13	<u>仕事の原理</u> とは、摩擦やひもの重さを無視した場合、どのような道具を用いても「物体を持ち上げるのに必要な仕事の総量」は変わらないという法則です。		<u>仕事の原理</u>	☐
14	その始点から向かい合う角を結ぶ線が、2つの力を合わせた合計の力である「合力」を表します。この線を <u>対角線</u> と呼びます。		<u>対角線</u>	☐
15	外から力が加わらない限り、止まっている物体は静止し続け、動いている物体は等速直線運動を続けるという原理です。		<u>慣性の法則</u>	☐
16	1つの力を、任意の方向に働く2つの成分（分力）に分ける操作です。		<u>力の分解</u>	☐
17	この両者の和を <u>力学的エネルギー</u> と呼びます。		<u>力学的エネルギー</u>	☐
18	物理学において、ある物体に力を加えて動かした際、力と動かした距離の積を「仕事」と呼びます。		<u>仕事の原理</u>	☐
19	これを <u>力学的エネルギーの保存</u> の法則と呼びます。		<u>力学的エネルギーの保存</u>	☐
20	物体に働く重力を、斜面に平行な面と垂直な面に分けて考えたそれぞれの力を <u>分力</u> といいます。		<u>分力</u>	☐

言えなかった用語ノート